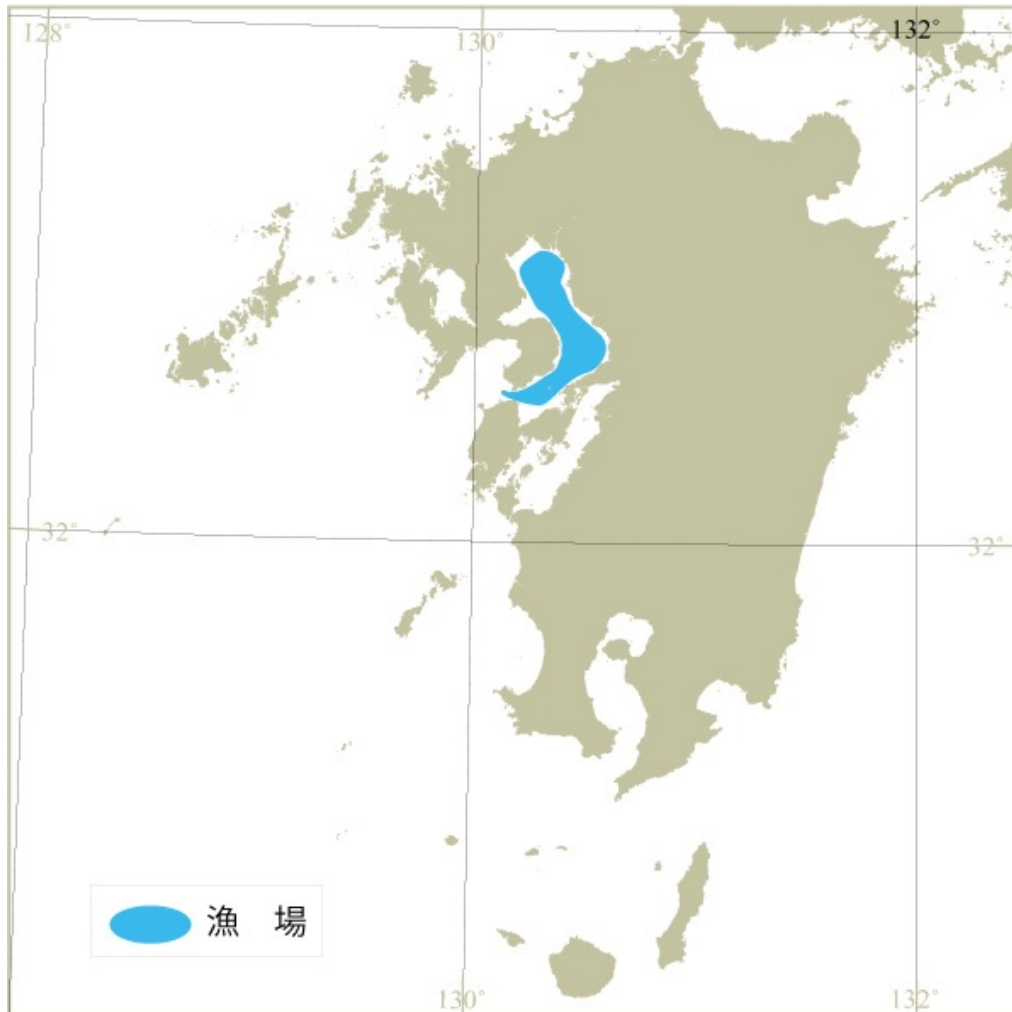




ガザミ有明海 令和3年度資源評価結果

生物学的特性

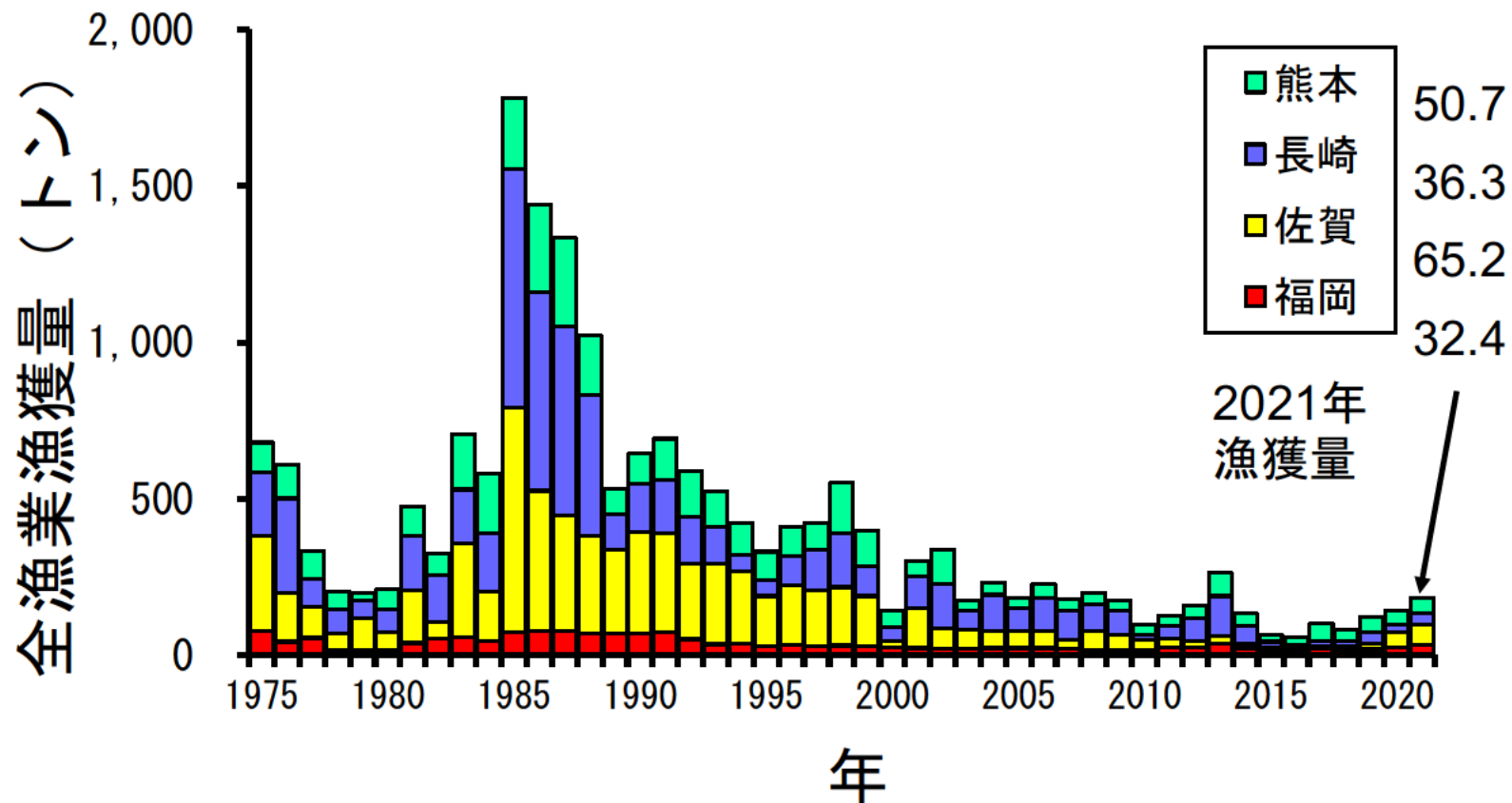


生物学的特性

- 寿命：2～3年
- 成熟開始年齢：1歳未満
- 産卵期・産卵場：4～9月
(有明海の湾央部～湾奥部)
- 食性：甲殻類、多毛類、貝類など
- 捕食者：不明

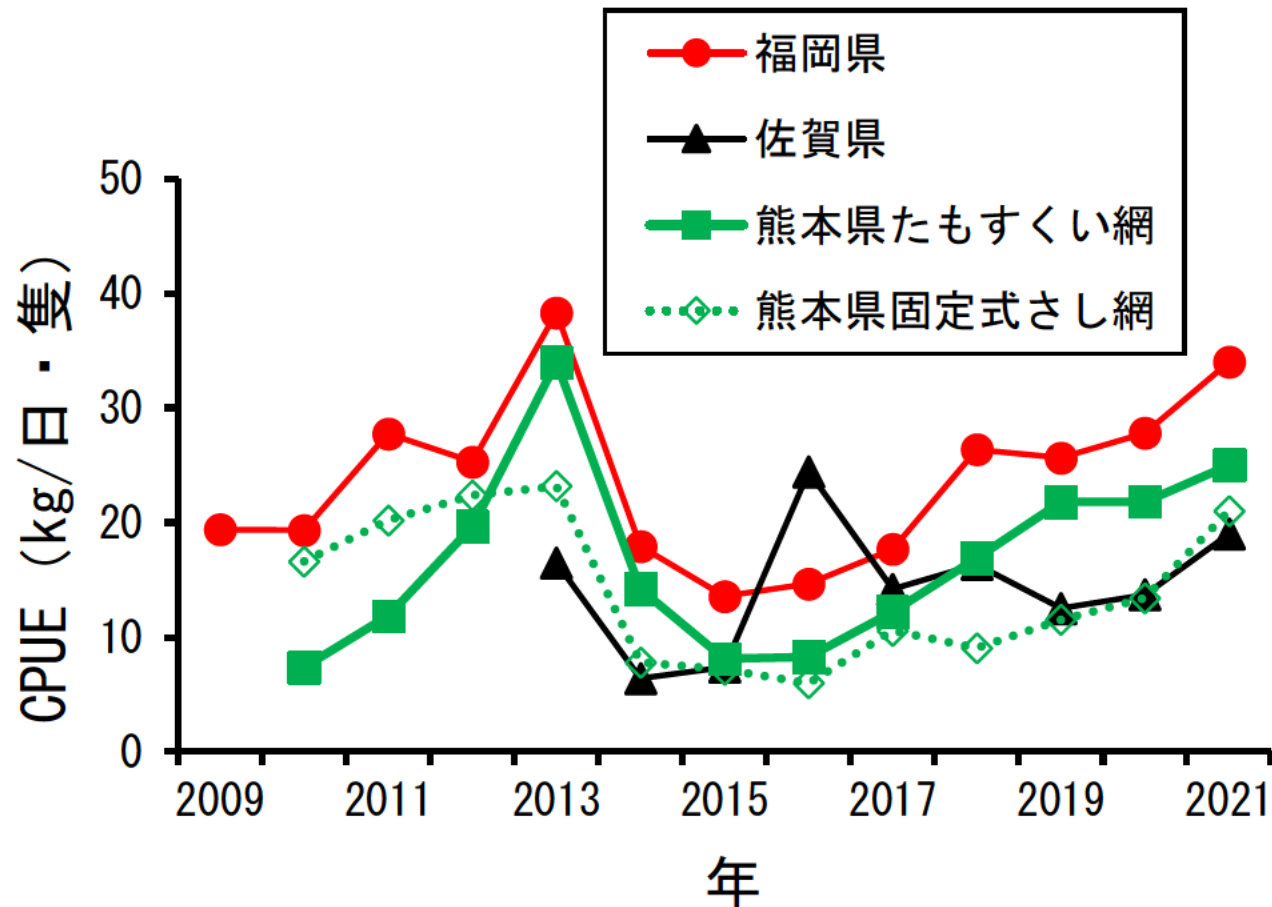
- 漁場は有明海全域

漁獲の動向①



- 主漁法はカゴ、固定式刺し網、たもすくい網、小型底曳網
- 全漁業種の合計漁獲量は、1985年の最大値1,781トンから2000年の142トンにまで急減し、その後、増減を繰り返した
- 過去4年と当年の漁獲量を線形近似させた傾きは、2019年にはプラスに転じ、2020年、2021年に漸増した

漁獲の動向②



- 2009～2021年の各県・漁業種のCPUE（操業1日・漁船1隻あたりの漁獲量）は、6～42（kg/日・隻）の範囲で増減を反復
- 2021年のCPUEは19～34（kg/日・隻）で、各県・漁業種とも2017年以降で最高値を示した

資源評価のまとめ

- 全漁業種の合計漁獲量は、1985年の最大値1,781トンから2000年の142トンにまで急減し、その後、増減を繰り返した
- 2017年ごろから2021年にかけて合計漁獲量とCPUEはともに上昇した
- 以上の合計漁獲量とCPUEの年変動から、有明海のガザミ資源は、低位で増加傾向にあると考えられた。ただしこの傾向は、標準化CPUEなどの、より厳密な資源量指標によって再検証する必要がある